ないなど、

ニーズとマ

り大型遊具があまり置け

詳しくはこちらで

る

さ、

天井高等の制約によ

市政の

般質問



(第3次)の見通しは 霧島市経営健全化計画

宮田 竜二 議員

に自主財源を確保するア イディアはないか ける歳入について、 本市の財政構造にお 新た

な※3基金が、 PR等に努めている。 処分や、ふるさと納税の 未利用財産の利活用及び などを実施すると共に、 報誌への広告掲載やホー 業実施要綱を制定し、 図るため、 ムページへのバナー広告 及び地域経済の活性化を 財政調整に利用可能 市民サービスの向上 霧島市広告事 現状の1 広

は更に14に激減する見込 能な健全財政」と言える みのようだが、 に半減し、 57億円から令和3年度 令和7年度に 「持続可

> る。 費等への活用により、 示すことになると考えて に後継の計画等において 定の残高を確保しておく 迅速に対応するため、 害や経済状況の悪化等に 予測ができない大規模災 込みを立てている一方、 基金が大きく減少する見 や大規模な普通建設事業 答 については、令和3年度 ことの必要性を掲げてい 今後の基金の在り方 収支不足額へ 、の対応 3

財政調整基金、減債基 金、特定建設事業基金

詳しくはこちらで



霧島市の森林を守ろう伐採届の新しい要綱で

伐採届の要綱が見直 違法伐採等が りたい。 答 また、

されたが、

解消されるのか。

に加え、 考えている。 ら「搬出経路等が確認で 未然防止に繋がるものと 後は森林盗伐や誤伐等の の提出を求めており、 関係者との協議書類」等 住民票、チェックリスト、 きる書類、 従来の森林法の届け 令和2年1月か 登記簿謄本、 今

券の活用策は十分か 業のはり・きゅう等利用 いきいきチケット支給事

も多く聞くが原因は何

執行部に対する不満

提案している。

より家賃補助等の拡充を ンド整備に加え、新年度 住の促進、光ブロードバ

聞くがその対策はどう また、不正利用もあると が低い。改善策はあるか。 まマッサ はり・きゅう、 -ジ券の利用率 あん

その他の質問

詳しくはこちらで





えるが旧1

市6町の

チケットの不正利用防止 に押印又は署名をさせ については、 る施術を対象に加えるこ に努める。 利用する際 不正利用

対策をどう考えるか。

どうか。

と中山間地域の人口減少

答

る。

対策として移住・定

の5地区は減少してい 横川・牧園・霧島・福山 増加しているが、

溝辺・

国分・隼人の人口は

答

要望等の内容によっ

庁内横断的に課題

・農地の目的外使用につ

解決を図っているため時

間を要し不満に繋がって





行政運営を生まない

14

市税等の滞納状況は 下深迫 孝二

議員

霧島市議会だより第58号 令和2年5月号

現状 市税等の滞納状況は

ある。 円 保険で465万4千円で 6千円、後期高齢者医療 テレビ使用料で844万 23万8千円、 9万、学校給食費で49 宅で1億4454万4千 億6091万円、 64万5千円、 過年度の合計で4億76 水道使用料で509 市税全般で現年度と ケーブル 国保で3 市営住

その他の質問 生活保護の状況につい

詳しくはこちらで



短縮を

要介護認定までの期間

はいつまで続くのか 陵南小学校プレハブ校舎

松元 深 議員

舎での授業が続いてい る。新校舎の増築はでき 成25年から、プレハブ校 陵南小学校では、 <u>\\\</u> 問

か。

つある。

本年3月には近

から、 は困難であると考えてい 少する見込みであること 本館での授業が可能であ 2年度は、普通クラスは 業が行われている。令和 屋でプレハブ教室での授 児童数は緩やかに減 令和3年度をピーク 特別支援クラス2部 現 在、 新たな校舎の増築 普通クラス

誌の編さんを 市政施行記念事業で郷土

る猿の群れが、

最近大量発生して

える。 編さんする考えはない いる。 は郷土誌が編さんされて 本年で合併15年を迎 霧島市の郷土誌を 合併前の旧市町で

あったか。

施後に日数短縮効果は 延長・審査の簡素化を実

ては、可能な限り、子育

ないか。

て世代の参画が図られる

ように努める。

遊具につ

えて

いく。設置にあたっ

ている。認定有効期間の

答

バスの交通なども考

申請から認定までの

ないのではないか。

П

仁美

議員

30日以内とされ

体制を含め検討して るさと霧島」を継承して 振り返り、次世代に「ふ げた本市の歴史と歩みを いく契機となる。編さん 先人たちがつくり上

が対策可能な、

猿を集落 住民自ら

業を行う予定。

息状況の把握に向けた作

ち寄り、

広域的な猿の生

隣の1市2町と情報を持

に寄せ付けない対策など

護保険組合の担当職員と

間短縮に努めていく。

情報を共有し、

全体の期

答

護認定件数が減少し、

安全のために利用制限の 50組ほどと考えており、

仕組みなども検討する。

われたことにより、

認定期間の延長が行

いては一度に使えるのは

次判定までの期間は短縮

姶良・伊佐地区介

その他の質問

希望がある。アクセシビ小学生連れや土日の利用

その他の質問

る。

に

て 保育人材バンクについ

リティの問題や施設の狭

性の分析を

共働きの増加により

全天候型こども館の市場



公共施設管理計画につ

備品管理について

えているのか

してどのような対処を考



正しい猿害対策で安心 な暮らしを

愛甲 信雄 議員

物に危害を加える恐れが あるが、対策はどのよう 人や農作 是正し、 者との間に生じる格差を 場である国分斎場の利用 令和2年度当初予算に計 本市が負担する経費を 同額になるよう、 本市が管理する火葬 実質的な負担が 差額を

に考えているのか。

をまとめたチラシを作成 し、周知したいと考えて その他の質問

伊佐北姶良環境管理組 合の協議の現状につい

いる。

特認校の支援について

ついて 肥薩線の利用促進等に

金値上げについて、市と問 ひしかり苑の火葬料

火葬料金の格差是正を



